

★「渡部委員提出資料」(2014年5月28日)

2014年4月諮問時における橋下大阪市長の「世界動向を踏まえた答申をお願いしたい」とのご指示に基づき、「特別職域報酬等の世界動向」を国際比較研究的に提供したい。

「世界的に『21世紀は地方自治の時代』と言われる現在、『地方自治ガバナンスの確立』(公平で効率的で透明性高き地方分権の充実)こそが、社会保障制度の充実と効率化と並んで超少子超高齢21世紀日本の緊急課題」である。

「地方自治ガバナンスの確立」のためには、「地方立法・行政の具体的内容」のみならず、「特別職に対する金銭的住民コスト負担水準」も非常に重要な課題となる。

このため、ここでは「特別職に対する住民の金銭的コスト負担問題」をまず「市長と市議会議員の典型的報酬に焦点を絞って、地方自治充実が世界的に高く評価されている米国の実態と日本の現状を「50万人以上の市で日米比較研究(2014年ベース)」したい(これだけ詳細な情報は日本のみならず世界初である。なお米欧では年俸制が多く、期末手当等は皆無で、地方議会議員年金制度も皆無。詳細後述)。

(図表1)

日米人口50万人以上市の市長・市議会議員年額報酬比較(2014年5月。\$=100.0円)

都市名	人口	議員 定数	議員1人 当たり人口	議員 報酬	住民1人 議員コスト	市長報酬	住民1人 市長コスト
-----	----	----------	---------------	----------	---------------	------	---------------

上段：2007年

下段：2014年

1.ニューヨーク	814万人	51人	160千人	900万円	56.4円	1,560万円	1.9円
	808	51	158	1,125	71.0	2,250	2.8
2.ロスアンジェルス	385	15	257	1,362	53.1	1,771	4.6
	377	15	251	1,813	72.1	2,324	6.2
(1.横浜	365	90	41	1,678	413.8	2,560	7.0)
	371	86	43	1,601	371.1	2,687	7.2)
3.シカゴ	284	50	57	850	149.6	1,921	6.8
	270	50	54	1,093	202.4	2,162	8.0
(2.大阪	265	87	30	1,765	579.5	2,336	8.8)
	266	86	31	1,624	525.1	2,615	9.8)
(3.名古屋	224	73	31	1,713	558.3	2,284	10.2)
	227	75	30	1,633	539.5	2,616	11.5)
4.ヒューストン	202	14	144	442	30.6	1,658	8.2
	207	14	148	558	37.7	2,091	10.1

(4.札幌)	188	66	28	1,488	522.4	2,214	11.8)
	192	68	28	1,400	495.8	2,143	11.2)
(5.神戸)	151	67	23	1,609	713.9	1,951	12.9)
	155	69	22	1,551	690.4	2,587	16.7)
5.フィラデルフィア	146	17	86	800	93.2	1,300	8.9
	151	17	89	1,211	136.3	2,024	13.4
6. フェニックス	146	9	162	360	22.2	560	3.8
	145	9	161	616	38.2	880	6.1
(6.川崎)	139	61	23	1,436	630.2	2,163	15.6)
	144.0	60	24	1,351	562.9	2,268	15.8)
(7.福岡)	144	61	24	1,522	644.7	2,102	14.6)
	143.5	62	23	1,432	618.7	2,318	16.2)
(8.京都)	139	67	21	1,578	760.6	2,044	14.7)
	142	69	21	1,563	759.5	2,479	17.5)
7.サンアントニオ	126	11	115	日当 0.2	-	30	0.2
	129	11	117	14	1.2	30	0.2
8.サンディエゴ	126	8	158	718	45.6	957	7.6
	128	8	160	751	46.9	1,005	7.9
(9.さいたま)	119	62	19	1,397	727.8	2,040	17.1)
	125	60	21	1,314	630.7	2,255	18.0)
9. ダラス	121	15	81	375	46.5	600	5.0
	119	15	79	375	47.3	600	5.0
(10.広島)	115	58	20	1,488	750.5	1,925	16.7)
	118	55	21	1,440	671.2	2,259	19.1)
(11.仙台)	101	58	17	1,426	818.9	2,108	20.9)
	104	55	19	1,367	722.9	2,241	21.5)
(12.北九州)	98	62	16	1,522	962.9	2,318	23.7)
	99	61	16	1,420	874.9	2,224	22.5)
(13.千葉)	92	54	17	1,401	822.3	2,054	22.3)
	96	54	18	1,289	725.1	2,191	22.8)
10. サンジョセ	91	11	83	750	90.7	1,050	11.5
	93	11	85	897	106.1	1,140	12.3
(14.堺)	89	50	17	1,349	757.9	1,750	19.7)
	84	52	16	1,306	808.5	2,191	26.1)
11.ジャクソンビル	78	19	41	240	58.5	1,500	19.2
	81.1	19	43	240	56.3	1,500	18.5

12 インディアナポリス	78	29	27	114	42.4	950	12.2
	80.9	29	28	114	40.9	950	11.7
(15.新潟	80	54	15	1,130	762.8	2,012	25.2)
	80.8	56	14	1,015	703.5	1,813	22.4)
(16.浜松	79	52	15	1,121	737.9	2,209	28.0)
	82	46	18	1,049	588.5	2,067	25.2)
13. サンフランシスコ	74	11	67	376	55.9	1,615	21.8
	79	11	72	376	52.4	1,615	20.4
14. コロンバス	72	7	103	350	34.0	1,200	16.7
	77	7	110	350	31.9	1,200	15.6
15. オースチン	69	7	99	450	45.7	600	8.7
	76.4	7	109	699	64.4	813	10.7
16. デトロイト	89	9	99	813	82.2	1,762	19.8
	75.9	9	84	813	96.4	1,762	23.2
(17.熊本	66	48	14	730	530.9	1,977	30.0)
	73	49	15	1,043	700.1	1,759	24.1)
(18.相模原	69	52	13	1,159	873.4	1,976	28.7)
	72	49	15	1,091	742.5	2,027	28.2)
(19.静岡	72	52	14	1,147	828.4	2,163	30.0)
	71.3	53	13	1,108	823.6	2,085	29.2)
17. チャルロッテ	61	11	55	130	23.4	183	3.0
	70.6	11	65	130	20.1	183	2.6
18. フォートワース	62	9	69	日当 0.8	-	日当 0.8	-
	70.5	9	79	250	31.7	290	4.1
(20.岡山	69	53	13	1,228	943.2	2,145	31.1)
	70.3	52	13	1,189	879.5	1,998	28.4)
19. メンフィス	67	13	52	201	39.0	1,400	20.9
	65.4	13	50	201	40.0	1,400	21.4
20. エルパソ	60	9	67	150	22.5	250	4.2
	63	9	70	305	43.6	420	6.6
21. バルティモア	64	19	34	480	142.5	1,250	19.5
	62	19	33	480	147.1	1,250	20.2
22. ボストン	56	13	43	625	145.1	1,250	22.3
	60.2	13	46	625	135.0	1,250	20.8
23.シアトル	57	9	63	848	133.9	1,362	23.9
	59.5	9	66	848	128.3	1,362	22.9

(21.船橋)	59	50	12	1,090	923.7	1,972	33.4)
	62	50	12	766	617.8	1,668	26.9)
(22.鹿児島)	60	50	12	1,223	1,019.2	2,059	34.3)
	61	50	12	1063	871.3	1,789	29.3)
24.ミルウォーキー	58	17	34	619	181.4	1,246	21.5
	58.9	17	35	619	178.7	1,246	21.1
25.ナッシュビル	58	40	15	69	47.6	750	12.9
	58.8	40	15	69	46.9	750	12.8
26.ワシントン DC	55	13	42	925	218.6	1,382	25.1
	58.4	13	45	925	205.9	1,382	23.7
(23.川口)							
	58.1	45	13	963	745.9	1,669	28.7)
27.ラスベガス	55	6	92	407	44.4	534	9.7
	57.9	6	97	407	42.2	534	9.2
28.デンバー	56	13	43	623	144.6	1,228	21.9
	57.8	13	45	623	140.1	1,228	21.2
29.ポートランド	53	4	133	850	64.2	1,009	19.0
	56.7	4	142	850	60.0	1,009	17.8
(23.八王子)	55	40	14	1,021	742.5	1,903	34.6)
	56.5	40	14	915	647.8	1,705	30.2)
30.オクラホマ	53	8	66	120	18.1	240	4.5
	56.4	8	70	120	17.1	240	4.3
31.アルバカーキ	53	9	59	90	15.3	903	17.0
	55.5	9	62	219	35.5	1,094	19.7
32.ツーソン	52	7	74	240	32.3	420	8.1
	51.8	7	74	240	32.3	425	8.2
(24. 松山)	51	45	11	1,078	951.2	1,938	38.0)
	51.7	45	12	966	840.8	1,683	32.6)
(25.宇都宮)							)
	51.8	47	11	955	866.5	1,717	33.1)
(26.東大阪)							)
	50.4	42	12	1,085	904.2	1,604	31.8)

A.上記数字の平均値動向

1. 人口50万以上の市の平均値

(2007 年)

米国 a.	122	15.3	85	490	69.8	1,017	12.6
日本 b.	120	58.8	19	1,346	751.3	2,092	22.1
日米格差(b/a)	1.0 倍	3.8 倍	0.2 倍	2.7 倍	10.8 倍	2.1 倍	1.8 倍

(2014 年)

米国 a.	121	15.3	86	797	75.2	1,138	12.8
日本 b.	120	58.8	20	1,288	728.0	2,179	22.4
日米格差(b/a)	1.0 倍	3.8 倍	0.2 倍	1.6 倍	9.7 倍	1.9 倍	1.8 倍

2.人口 100 万人以上の市の平均値

(2007 年)

米国 a.	261	21.1	136	645	55.3	1,151	5.2
日本 b.	177	68.2	25	1,555	647.3	2,157	13.7
日米格差(b/a)	0.7 倍	3.2 倍	0.2 倍	2.4 倍	11.7 倍	1.9 倍	2.6 倍

(2014 年)

米国 a.	259	21.1	135	840	72.6	1,485	6.6
日本 b.	181	67.7	26	1,480	598.9	2,406	15.0
日米格差(b/a)	0.7 倍	3.2 倍	0.2 倍	1.8 倍	8.3 倍	1.6 倍	2.3 倍

B. 主要項目の 2007-2014 年間の増減概況

a.人口 50 万以上の市の状況

(1)人口の増減

米国：増加 21 市、減少 6 市、横ばい 5 市、合計 32 市

日本：増加 15 市、減少 1 市、横ばい 8 市、合計 24 市

(2)議員報酬の増減

米国：増加 13 市、減少 0 市、横ばい 19 市、合計 32 市

日本：増加 1 市、減少 23 市、横ばい 0 市、合計 24 市

(3)市長報酬の増減

米国：増加 13 市、減少 0 市、横ばい 19 市、合計 32 市

日本：増加 13 市、減少 11 市、横ばい 0 市、合計 24 市

b.人口 100 万以上の市の状況

(1)人口の増減

米国：増加 4 市、減少 4 市、横ばい 1 市、合計 9 市

日本：増加 9 市、減少 0 市、横ばい 2 市、合計 11 市

(2)議員報酬の増減

米国：増加 8 市、減少 0 市、横ばい 1 市、合計 9 市

日本：増加 0 市、減少 11 市、横ばい 0 市、合計 11 市

(3)市長報酬の増減

米国：増加 8 市、減少 0 市、横ばい 1 市、合計 9 市

日本：増加 10 市、減少 1 市、横ばい 0 市、合計 11 市

C.人口の動向：

a.人口 50 万以上の市：

(1)2007 年：米国 31 市、日本 24 市

(2)2014 年：米国 32 市、日本 26 市

b.人口 100 万人以上の市：

(1)2007 年：米国 9 市、日本 11 市

(2)2014 年：米国 9 市、日本 11 市

c.人口 50 万以上の市の人口動向

(1)2007-2014 年間に人口が増加した市： 米国 22 市、日本 15 市

(2) 人口が減少した市： 米国 6 市、日本 1 市

(3) 人口が横ばいの市： 米国 4 市、日本 8 市

d.人口 100 万人以上の市の人口動向：

(1)2007-2014 年間に人口が増加した市： 米国 4 市、日本 9 市

(2) 人口が減少した市： 米国 4 市、日本 0 市

(3) 人口が横ばいの市： 米国 1 市、日本 2 市

★備考・主要出典：

- ・日本の市で暫定的報酬削減実施中の場合は、「削減前の制度値」を表示。
- ・拙著「中央議会・地方議会議員年金制度：国際比較からの考察」（朝陽会 2010 年）。本書は世界初の議員年金・議員報酬の専門誌である（当時の為替のレートは \$ = 100.0 円）。
- ・NCSL, 2014 State Legislator Compensation and Per Diem Table(May 2014)
- ・NCSL, 2014 State Legislator Compensation/Living Expensive Allowances(April 2014)
- ・ICMA, Municipal Year Book 2014(2014)
- ・New York City Campaign Finance Board, A Description of Elected Officers and Their Official Websites(2014).
- ・CRS, Congressional Salaries and Allowances(2014)
- ・SOCDS, Top 50 Cities by Population for 2000 and 2010 (2014).
- ・総務省「地方公務員給与の実態：都道府県別、市区町村別給与等の一覧表（2012 年 4 月 1 日現在）」（2013 年 5 月）
- ・全国市議会議長会「市議会議員報酬に関する調査結果(2011 年 12 月末現在)」(2012 年)
- ・全国市議会議長会「市議会議員定数に関する調査結果(2012 年 12 月末現在)」(2013 年)
- ・大阪市特別職報酬等審議会会議資料（2014 年 4 月）

以上